財團法人 協調會福岡出張所

付け切らない此の歩の改造を遣つて見せると言つて一段を三百五歩に改造したのであるが兎も角其の頃の一段は一人の大人が普通の生活で一年間樂に食ふことの出來る廣さである此の田地を男の子が生れて六歳になれば二段を與へ女ならば男の三分の二を與へられ男子は六十歳女子は四九歳で返さなければならなかつた

此處に二軒の家があり一軒は子供が五人出來たから其の子供五人に對し大人が五人食へる丈けの田を渡される然も其の田の收獲に依り五人の子供を育てゝ行けば殘る米等はない一軒では大人二人卽ち夫婦者に對して子供五人出來ることを見越して渡してある若し子供が五人出來て三人死んだとしたなら其の三人分の田は殘る譯である從つて米殘り抔關となる

此んな狀態が幾年か續く中に一軒は大金持となり一軒は其の金を借りて行かねばならぬと言ふ樣に隔りが出來て來て幾何かの利子

財團法人 協調會福岡出張所